



COP25 マドリード会議参加報告

気候危機の緊急性に立ち向かう 十分な決意を示せず



COP25 の会場の様子（小泉環境大臣のスピーチのタイミング）
(c)Masayoshi Iyoda, Kiko Network 2019

昨年12月2日から2週間にわたり、スペインのマドリードにて、国連気候変動枠組条約第25回締約国会議（COP25）が開催されました。グレタ・トゥーンベリさんの演説や小泉環境大臣のコメントが日本でも報道されましたが、この会議では、何が話し合われ、何が決まった（あるいは決まらなかった）のでしょうか。

現地で会議にオブザーバー参加された、気候ネットワーク主任研究員で、第9期京都府地球温暖化防止活動推進員でもある伊与田昌慶さんに寄稿していただきました。

社会的責任を果たしたい！



あずま たかき

東崇貴さんの取組

第9期推進員
府内各地で
活躍中！



今期から新たに推進員に委嘱された東さん。大学で「ものづくり」と「地域創生」について学びながら、その知識を生かして、子ども向けの教育活動を積極的に実施中。今回はその活動内容についてご報告します！



100年前の京都市の冬日の日数は？

1年で1番寒い季節がやってきましたね。ところで、2019年までの10年間の平均冬日（最低気温が0℃を下回る日）の日数は約20日であり、2019年は3日だったとのこと。

では、およそ100年前、1900年から10年間の平均冬日日数は、およそ何日だったでしょうか。

- (1)40日 (2)60日 (3)100日

※この問題は、京都新聞「温暖化で『底冷え』消える？ 京都で激減、21世紀末『冬日なくなるかも』」(2020年1月6日)を元に作成しました。



答えのページはコチラ

COP25 マドリード会議参加報告

気候危機の緊急性に立ち向かう十分な決意を示せず

■残念な結果に終わった COP25 マドリード会議

昨年 12 月 2 日から国連気候変動枠組条約第 25 回締約国会議 (COP25) がスペインのマドリードで開催され、15 日に「チリ・マドリード・行動の時」と名づけられた合意を採択して閉幕しました。その名前とは裏腹に、各国政府が気候危機に緊急に立ち向かう決意を十分に示せない、残念な結果に終わりました。会議参加者の間からは、「この 2 週間は何だったのか」という声が聞かれたほどです。

■パリ協定実施指針交渉：

6条市場メカニズムはふたたび先送り

今会合では、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の最新報告が共有され、グレタ・トゥーンベリさんをはじめ、気候危機を訴える市民の声が会議場内外に響きました。実際、COP25 会議場には「気候の非常事態 (Climate Emergency)」との言葉が溢れ、これまで以上に科学の警

告や市民の要求は明確になりました。

今会合では、パリ協定実施指針の積み残し課題であるパリ協定 6 条に関する交渉が行われました。6 条には、京都議定書における排出量取引やクリーン開発メカニズム (CDM) のように、ある主体の温室効果ガス排出削減実績を、別の主体が購入して自分の排出削減目標の達成に使えるようにする仕組み (いわゆる市場メカニズム) が盛り込まれています。ところが、この詳細なルールは未定のままでした。6 条について争点になったのは…

続きは [web へ!](#) ▶▶▶



巨大スクリーンによる表示「気候変動ではなく、気候危機と呼ぼう」



記事全文が掲載された web ページはコチラ

第 9 期地球温暖化防止活動推進員 府内各地で活躍中!

「社会的責任を果たしたい」ものづくりと地域創生を学ぶ現役大学生

東崇貴(あずま たかき)さんの取組

今回ご紹介する推進員は、東崇貴さん。京都工芸繊維大学に通いながら、府の「WE DO KYOTO! ユースポーター」としても大活躍されています。

東さんは舞鶴市の出身です。高校3年生のとき、当センター職員が講師を務める学習会に参加していただき、そこでご縁が生まれました。これがきっかけで第9

期の推進員に応募されることに。委嘱式では、委嘱状代表受領の任を務められました。委嘱式について尋ねると「当日は、正直言ってびっくりしましたよ…

続きは [web へ!](#) ▶▶▶



記事全文が掲載された web ページはコチラ

パソコンからご覧になる場合は当センターホームページの「お知らせ」からアクセスできます。



メールマガジンでも情報を配信しています。

参加登録方法：空メールを送信いただくと参加登録のためのメールが送られてきます。



当センターでは、インターネットを活用した情報発信を充実させ、紙資源の節約を図っています。

SNSにもぜひご登録ください



ツイッター



ライン



フェイスブック



Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

ADDRESS: 〒604-8417
京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

TEL: 075-803-1128 (代)

FAX: 075-803-1130

E-mail: center@kcfca.or.jp

URL: https://www.kcfca.or.jp

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。